

## お申し込みについて

定員になり次第申込受付を終了します。お早めにお申し込みください。

1



パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

JMA マネジメント必須講座

または

セミナーID(半角数字)

JMA 100108

で検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は、JMAマネジメントスクールまでお電話(03-3434-6271)にてお問い合わせください。

### 参加料(消費税込)

※本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。

日本能率協会法人会員	宿泊無	154,000円／1名
	宿泊付	170,500円／1名
上 記 会 員 外	宿泊無	181,500円／1名
	宿泊付	198,500円／1名

※宿泊の有無を選択できます。宿泊付コースには宿泊費(1泊朝食つき)が含まれます。  
※テキスト(資料)費・昼食費・懇親会費が含まれております。  
※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。  
<https://www.jma.or.jp/membership/>

### 会員制度のご案内

小会は法人を対象とした会員制度を設けセミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。詳しくは関西事務所までお問い合わせください。

### キャンセル規定

参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方もご都合がつかない場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので予めご了承ください。

開催15日前(開催初日を含ます起算)～開催8日前	参加料の10%
開催7日前(開催初日を含ます起算)～前々日	参加料の30%
開催前日および当日	参加料全額

(万ーキャンセルの場合は必ずメールあるいはFAXでご連絡ください。)

2



スマートフォン・  
タブレットから



### ご注意

- 参加申込規定はお申し込みページにございますので、ご確認・同意の上、お申し込みください。
- 同業他社からのご参加はお断りする場合があります。
- 参加者数が最少催行人数に達しない場合は、延期もしくは中止にさせていただきます。

### 申込に関するお問い合わせ先

参加証・請求書、キャンセル・変更等

JMAマネジメントスクール TEL: 03 (3434) 6271

〈電話受付時間〉月～金曜日 9:00～17:00 ただし祝日を除く

メール: [seminar@jma.or.jp](mailto:seminar@jma.or.jp) FAX: 03 (3434) 5505

### プログラムに関するお問い合わせ先

プログラム内容講師派遣、会員入会 等

本研修は、各社に講師を派遣して社内研修として開催できます。研修プログラムは、各社の希望に合わせてカスタマイズしますので、社内研修をご検討の方はお気軽にお問い合わせください。

### 一般社団法人日本能率協会関西事務所

TEL: 06 (4797) 2050 (代表) / メール: [jma-kansai@jma.or.jp](mailto:jma-kansai@jma.or.jp)

# 2025年 大阪開催

取締役・執行役員・経営幹部に必須の知識を  
2日間に集約したプログラム

# 経営幹部のための マネジメント必須講座

リスクマネジメント

経営戦略

キャリア形成とリーダーシップ

財務・会計

## 参加企業一覧

(2018～: 順不同)

株式会社AOI Pro.  
JMACS株式会社  
NCS&A株式会社  
株式会社NEXT  
NISSHAエフアイエス株式会社  
NPAエンジニアリング&メンテナンス株式会社  
NSハートフルサービス関西株式会社  
TC神鋼不動産建設株式会社  
株式会社あじかん  
味の素ベーカーリー株式会社  
株式会社アッシュホーム  
穴吹興産株式会社  
株式会社あなぶき建設工業  
株式会社穴吹ハウジングサービス  
イーストプランニングジャパン株式会社  
株式会社井筒屋  
因幡電機産業株式会社  
株式会社うおいち  
株式会社魚国総本社  
株式会社エイチワン  
株式会社エヌ・シー・ゼット  
株式会社エフ・ジェイホテルズ  
株式会社エム・アール・ビー  
学校法人大阪キリスト教学院  
岡本株式会社  
オリンバスマーケティング株式会社  
鹿島建物総合管理株式会社  
カジマメカトロエンジニアリング株式会社  
川崎重工業株式会社  
関西設計株式会社  
株式会社キッツ  
九州指月株式会社  
極東開発工業株式会社

株式会社クリエアナブキ  
クリエイト株式会社  
株式会社クリエイト兵庫  
株式会社栗本鋳工所  
コウノイケ・エアポートサービス株式会社  
株式会社ゴーリキ  
三協立山株式会社  
株式会社シーイーシー  
株式会社シーテック  
株式会社ジェイアールシステム・エンジニアリング  
株式会社ジェイアール東海高島屋  
株式会社ジェイテクトプレジジョンベアリング  
株式会社ジェーシービー  
塩野フィネス株式会社  
滋賀トヨペット株式会社  
株式会社指月電機製作所  
嶋本運輸株式会社  
株式会社ジャクエツ  
株式会社商工組合中央金庫  
神栄株式会社  
株式会社スギ薬局  
スベラファーマ株式会社  
住友生命保険相互会社  
セイコー化工機株式会社  
積水化成工業株式会社  
株式会社積水化成成品西部  
積水ハウス株式会社  
センカ株式会社  
株式会社ソルコムマイスタ  
ダイハツディーゼル株式会社  
ダイワ運輸株式会社  
タカラ物流システム株式会社  
株式会社たけでん  
株式会社立花エレクトック  
田中貴金属工業株式会社

田辺三菱製薬株式会社  
株式会社中国パワーシステム  
デクトリスジャパン株式会社  
株式会社テストリアル  
東海エレクトロニクス株式会社  
株式会社東海理機  
東洋紡株式会社  
長瀬産業株式会社  
日東電工株式会社  
日本電力株式会社  
日本ジョン・クレーン株式会社  
日本ハム株式会社  
能瀬精工株式会社  
ハイモ株式会社  
バイオフェルミン製薬株式会社  
株式会社東テストリアル  
ファスケアホールディングス株式会社  
株式会社フォーム  
社会福祉法人福祥福祉会  
株式会社福屋ライフサービス  
富士ケミカル株式会社  
ブンセン株式会社  
星金属株式会社  
株式会社ボックス・ワン  
マクセル株式会社  
マツダロジスティクス株式会社  
株式会社マネジメントシステム評価センター  
丸大食品株式会社  
株式会社南テストリアル  
山ロアースエンジニアリング株式会社  
株式会社山田利  
株式会社湯山製作所  
綿半トレーディング株式会社

※社名は当時の参加者の会社名です。

会 期

2025年 9月17日(水)～18日(木)  
2025年 11月 5日(水)～ 6日(木)

会 場

クロス・ウェーブ梅田(大阪市北区)

参加対象

新任の取締役や執行役員の方、役員候補の方  
事業部長などの経営幹部の方  
経営者として必要な基礎知識を改めて学びたい方



● はじめに

日本能率協会ではトップマネジメント（取締役・執行役員・経営幹部）の経営力向上が、企業活力や競争力向上のための最重要課題であるとの認識に立ち、トップマネジメント対象研修を40年以上にわたって実施してまいりました。**これまで、10,000名を超える役員・経営幹部の方々が学ばれています。**

加速的に変化する経営環境において迅速な経営判断が求められる一方、企業活動に対する社会の眼は日に日に厳しくなっており、トップマネジメントには、より一層高い使命感・倫理観が求められています。また、グローバル化や社員の価値観・就業形態の多様化が進む中、明確なビジョンを組織に浸透させ実現する高いコミュニケーション能力や、組織・人材に対する深い洞察が必要です。

そのため、経営幹部としての考え方や役割についての認識を新たにするとともに、これからのマネジメントに必要な知識とスキルを、今改めてしっかりと身につけておく事が重要です。

本講座は、**取締役・執行役員・経営幹部に必須の知識**である、「リスクマネジメント」「キャリア形成とリーダーシップ」「経営戦略」「財務・会計」のエッセンスを**2日間で集中して学んでいただくプログラム**です。ゲスト講演では経営者の方から「リーダーシップ」「キャリア」についてをお話いただき、対話を重ねることで、役員・経営者として何をなすべきかの解像度をより高めていただけます。

● 参加者の声

- 最新事例に更新のうえ解説いただき、自身のなすべきことの解像度が高まり、見識を深めることができた。
- ディスカッションでは直面している課題を他業種の方と対話でき有意義であった。
- 説明もわかりやすく2日間中身の濃い講座だった。経験からなんとなく感じていたことを体系的、論理的に学ぶことができた。
- 実務経験で得た知識を改めて講義として学び直したことで、過去の行動を振り返り確信を持てるもの、改めるべきものがよくわかった。
- ゲスト講演は大きなインパクトを受けた。熱量が直接伝わり、これからの自身の行動を変えるきっかけになると感じている。
- 役員になって意識改革が必要だと感じていた中、基本部分と要点が2日間でカバーできており実例による説明が非常に役に立った。

1日目 [10:00～17:30 懇親会17:45～19:30]

(敬称略)

Ⅱ オリエンテーション（経営幹部に求められる基本姿勢と役割責任）

Ⅰ 内部統制と全社的リスクマネジメント（ERM）

上場、非上場を問わず企業を取り巻く環境は複雑になり、企業は様々なリスクを抱えています。現場のマネジャーとは異なり、経営幹部には企業全体を俯瞰的に観て適切な意思決定とモニタリングが求められます。そのためには内部統制と全社的リスクマネジメントの理解と実践が不可欠です。安全管理やBCP等との違い、リスクの分類（事業機会、事業活動、上場等）とマネジメントをケーススタディ方式で学習します。さらには最近の企業不祥事の深層原因を考察します。参加者同士の討議も行い、自社の経営会議の運営にも反映できます。

内部統制の基本

- 内部統制の沿革、目的、基本要素、体制（スリーライン）
- 子会社等に役員として出向した際の内部統制の活用

グループ討議

最近の企業不祥事の事例から何を学ぶか

- 企業不祥事の分類（過失と不正、自己利益か組織保身か等）
- 組織的不正（製造業、流通業等）の深層原因の考察
- 企業不祥事の根底にある組織的認知バイアス、日本語文化の弱み
- 従業員をどう動機付け、再生と信頼回復を図るか

グループ討議

グループ討議

全社的リスクマネジメント（ERM）

- 企業成長ステージに応じたリスクの体系（事業機会、事業活動、上場）
- ハザード、インシデント、BCP、クライシスマネジメントとの関連
- サステナビリティ、TCFDリスク、グローバルリスク
- 全社的リスクマネジメントのプロセス、取締役会等の役割等

グループ討議

経営会議の運営改革

- 部門長ではなく経営幹部としてどう経営会議に臨むか、運営を改革するか
- 歴史から学ぶ、株主等ステークホルダーのグローバル化への対応等

昼食 (13:00～14:00)

Ⅲ 経営幹部としてのキャリア形成とリーダーシップ

本セッションは、実際に上場企業の代表取締役社長のご経験を持つ方をお招きして、自身のこれまでのキャリアやご苦労されたことなどをお聴きします。さらに「トップとしてのリーダーシップ」や「役員としてのキャリア形成」などをグループ討議していきます。討議結果はゲスト講師とファシリテーターが講評し、今後のキャリア形成やスキルの向上に活かしていただきます。

- 経営者講演
- 質疑応答
- グループ討議
- 講評（経営者講師とファシリテータ2名による）

Ⅳ 参加者交流・懇親会

「部門の長」から  
「企業全体を俯瞰出来る  
経営幹部」へと導きます



星野 芳昭  
株式会社スター・ガバナンス  
代表取締役  
ガバナンスコーチ  
講義Ⅰ担当

講師プロフィール  
慶應義塾大学商学部卒業後、JMAでの実務経験を経て1985年よりコンサルティング会社にて上場企業等の組織改革、業務改革、業績評価制度、マネジメントサイクル定着化等に取り組む。1995年より内部統制とリスクマネジメント、2005年よりサステナビリティ（ESG）経営に取り組む。2013年に独立し、取締役会の実効性評価、取締役・執行役員・選抜執行役員候補者等のトレーニングとコーチング等に取り組む。行動変容と業績への反映など定量的なアプローチが特徴。



國井 総一郎  
株式会社ノリツ 相談役  
兵庫県立大学法人  
理事長

2025年 ゲスト講演

星野 芳昭  
株式会社スター・ガバナンス  
代表取締役  
ガバナンスコーチ

ファシリテータ

2日目 [9:30～17:00]

(敬称略)

Ⅳ 競争優位の経営戦略と事業創造

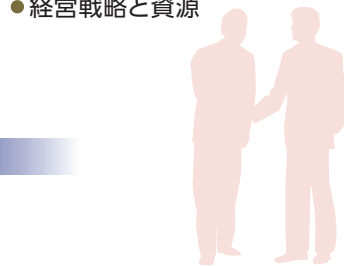
全体最適・将来最適を見据えながら、成長分野への投資など新たな打ち手とともに、構造的確に変革していかなければなりません。限られた経営資源の配分と有効活用を考え、優先順位を決断する。本セッションでは、事業と経営戦略で役員に求められる視点を学びます。

経営戦略とリンクした事業創造

- 価値観とステークホルダー戦略：経営戦略の前提
- ビジョンと経営戦略：戦略的視点の重要性
- ドメインの定義
- 競争優位の戦略
- 戦略策定のプロセス
- 事業創造の戦略
- 経営戦略と資源

ビジネスモデルの考え方

- ビジネスモデルの意義
- ビジネスモデルの構造
- ビジネスモデルの編成原理



不透明な時代を生きぬくための  
経営戦略について考えましょう



金井 一頼  
大阪大学名誉教授  
大阪公立大学大学院  
都市経営研究科 教授  
講義Ⅳ担当

講師プロフィール  
神戸大学大学院 経営学科研究科 博士課程修了、弘前大学 人文学部、滋賀大学 経済学部、北海道大学経営学部、同大学大学院 経済学研究科、大阪大学大学院 経済学研究科 教授、大阪商業大学 総合経営学部 教授を経て2018年より青森大学学長（2023年3月退官）。日本ベンチャー学会会長、組織学会評議員、企業家研究フォーラム理事他多数の要職にある。<研究分野>経営組織、経営戦略、企業家活動、ベンチャー創造とクラスター 等<主要著書>「ベンチャー企業経営論」[大学発ベンチャー：新事業創出と発展のプロセス]「経営戦略—理論性・創造性と社会性の追及」他

昼食 (12:45～13:45)

Ⅴ 財務・会計の重要ポイント

企業の持続的成長と企業価値向上のために「コーポレートガバナンス・コード」では、自社の資本コストと KPI（重要業績評価指標）の開示が求められています。KPIと資本コストは、経営幹部として適正な経営判断や意思決定を行う上でも重要であり、その正しい知識と実践に向けて分かりやすく解説します。

利益測定の誕生から現在の財務報告制度まで

- 利益測定の重要性
- 会計の政治化・国際化・電子化
- 企業会計をめぐる3つの法律

KPIと資本コストのイントロダクション

- 資本コストの把握とKPIの開示要求
- 積極的な開示例
- 日本企業と投資家の認識ギャップ

KPIと資本コストの考え方と実践

- KPIと資本コストはなぜ重要か？
- 代表的な収益性尺度：ROEとROA
- 近年注目されているROICとは？
- 資本コストの理論と実践

企業価値評価の実践

- 各種企業価値評価モデル
- 割引キャッシュフロー法 (Discounted Cash Flow Model)
- 配当割引モデル (Discounted Dividend Model)
- 残余利益モデル (Residual Income Model)
- 残余利益モデルの実践

経営者に必須な数字を  
分かりやすく説明します



石川 博行  
大阪公立大学大学院  
経営学研究科 教授  
講義Ⅴ担当

講師プロフィール  
神戸大学経営学部卒業、神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了、博士（経営学）、大阪市立大学商学部専任講師、大阪市立大学大学院経営学研究科准教授を経て、2009年より現職。研究テーマ：会計情報を用いた企業分析と企業評価。企業活動が会計報告書にとりまとめられるプロセスと、それが株式市場に伝達されたときの経済的効果に関する理論的・実証的研究。配当や自社株買いといった株主還元的意思決定と、それらのペイアウトが株式市場にどのような影響を与えているのかについての理論的・実証的研究。<主要著書>「配当政策の実証分析」、「株価を動かす配当政策 コロケーション効果の実証分析」、「会社を伸ばす株主還元」等